

群馬の畜産

みんなの情報室

第319号

発行日
平成26年1月21日

発行:公益社団法人 群馬県畜産協会

〒379-2147 前橋市亀里町1310 群馬県JAビル 6階/TEL:027-220-2371(代) FAX:027-220-2372

ホームページ:http://www.chikusankyokai.or.jp

第9回関東ブラックアンドホワイショウ

ジュニア準名誉賞
(第2部 中之条高校)ジュニア名誉賞
(第5部 北軽井沢ヤツグマツツグケート)シニア準名誉賞
(第10部 長坂 仁司)

目次

◎年頭のご挨拶	2	◎第9回関東BWショウにて群馬県の乳牛改良の成果を発揮	6
◎一日で約400名が参加した子豚の広場ちびっ子写生大会	2	◎第14回全日本ホルスタイン共進会の開催日程決定	6
◎優れた酪農の経営継承人材の発掘に シェアミルキング推進事業	3	◎価格安定支援の各事業の実施状況	7
◎酪農ヘルパー全国協会会長表彰	4	◎行事予定	8
◎第17回群馬県畜産共進会(繁殖和牛・乳牛)が開催	5	◎南関東4競馬場開催日程	8

年 頭 の ご 挨拶

公益社団法人 群馬県畜産協会
会 長 長 岡 武

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、すこやかな新春を迎えられたことと、お慶びを申し上げます。

また、平素から、本会が実施しております、各種事業につきまして、ご支援、ご協力いただきありがとうございますことに、心から感謝を申し上げます。

昨年の畜産動向としては、久々の飲用向け生乳取引価格が改定され、和子牛取引頭数の減少からの子牛価格は高騰し、また、秋以降、牛肉・豚肉取引価格や鶏卵価格は堅調に推移した状況でありました。

しかし、配合飼料や輸入粗飼料、燃料、資材等の価格高騰は依然、継続しており、まだまだ厳しい状況となっております。特に配合飼料価格については、今期（1～4月）の農家負担額は過去最高になっているところであります。更に、T P P交渉の動向は、甚だ不透明で先行きが混沌としている状況に変わりはありません。

ご承知のとおり、本県の畜産は農業産出額の41.5パーセント（平成24年度）を占める基幹部門であり、本県農業振興の牽引役であります。これを維持するためには、ここ数年来の大変厳しい畜産情勢を、躍進につながるための試練として捉え、すべての事

に対して前向きに取り組むことが大切であると思っています。具体的には、畜産関係者の皆様方が極力、生産現場や流通現場に赴き、生の声を聞く姿勢を常に持ち、安全で良質の畜産物を消費者に提供するという畜産農家の使命を確固たるものとし、後継者等が元気で希望を持って取り組める経営基盤を確保できるための積極的な支援が必要であります。

本協会としては、今後とも、安定的な畜産経営を継続するための経営支援をはじめ、家畜・畜産物の価格安定対策、家畜や農場の衛生対策、消費者ニーズである安全な畜産物を提供する生産衛生の推進、畜産応援団を確保するための理解増進、畜産経営の人材確保など、本会の持つ機能を十分に活かして取り組んで参りたいと存じます。

平成26年が畜産経営者の皆様にとって、飛躍の年となるよう願うとともに、本会が実施している各種畜産振興関連事業に対しまして、皆様方からの一層のご協力・ご支援を心からお願い申し上げます。年頭にあたりましての、ご挨拶とさせていただきます。

企画管理部より

◆一日で約400名が参加した 子豚の広場 ちびっ子写生大会

毎年恒例の群馬県養豚協会が主催する「第15回子豚の広場ちびっ子写生大会」が10月27日（日）に第24回酪農畜産フェスティバル内で開催されました。酪農畜産フェスティバルは、例年土日の2日間、群馬県畜産試験場で開催される、県民の皆様期待のイベントですが、今年は、台風の影響で1日目が中止。2日目だけの1日間の開催となりました。

この写生大会は、群馬県及び上毛新聞社の後援で、幼稚園・保育園から小学生を対象に、実際の子豚を見ながら写生してもらい、応募者の中から金賞2点、銀賞10点、銅賞20点を決めるというものです。

子豚については、3種（ヨークシャー種、デュロック種、ランドレース種）を用意しました。それぞれの品種の特徴をどのように写生の中に表現されるかも見どころとなっています。毎年参加したいという子供たちも多くおり、応募総数は約400人で、一日の予定の倍ほどの応募があり、写生大会の会場は大盛況となりました。11月7日には、審査員による審査が行われ、右のとおり各部の金賞が決定しました。



第1部 幼稚園・保育園の部：大場 葉水ちゃん（前橋市）



第2部 小学生の部：前原 望来さん（高崎市）

◆優れた酪農の経営継承人材の発掘に シェアミルク推進事業

継承希望事案のある利根沼田地区の関係機関にご協力をいただきながら、本県における畜産（酪農）における経営継承の方法について検討を進めている「シェアミルク推進事業（県委託事業）」について、

これまでに、

- ①推進委員会（構成：県畜産課・技術支援課・JA中央会・農業公社・農業会議・乳販連・本協会）による酪農ヘルパーを活用した酪農の経営継承スキームの検討
- ②JA及び酪農ヘルパー利用組合への事業の啓発
- ③継承資産評価の方法の検討と実施
- ④地域取組み活動への支援（地域の核となるJAへの経営継承支援のコーディネート）などを行ってきました。

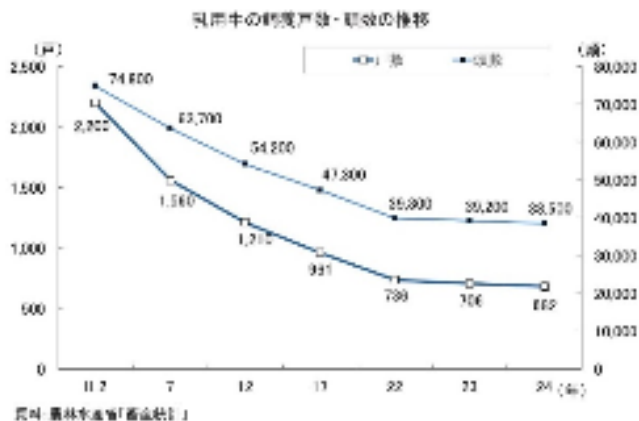
今回は、畜産（酪農）の経営継承を希望する新規就農者等のスカウト活動として、10月26日東京で開催された「新・農業人フェア」への参加し、就農希望者等からの就農相談を行いました。

来場者数が826人と、前回（1398人）よりも少ない来場者の中、群馬県（群馬県新規就農相談センター（群馬県・群馬県農業会議・公益財団法人群馬県農業公社）と当協会）には28人、当協会ブースには10人の方が経営継承に興味をもち相談に来られました。

相談者の多くは畜産（酪農）経営を知らない方々で、酪農とはどういうものなのか短期間の農業体験を希望される方が多く見受けられ、今後、畜産（酪農）における非農家等の新規就農者等の受入体制として、今後、関係機関のご協力をいただきながら、農業体験などの試行受入の実施や受入体制の整備を進めていく必要があると感じました。

経営継承への取組みについては、10月には、県畜産課及び当協会から酪農協及び農協、並びに酪農ヘルパー利用組合に対し「酪農における経営継承への取組みについて」継承等に係る情報提供とあわせ、取組みについてのご理解をお願いしているところです。

本県の酪農は、ここ数年、年間20～30戸のペースで離農しており、生産基盤の縮小が続いています。（グラフ参照）



◆技術に優れた酪農ヘルパーを表彰 酪農ヘルパー全国協会会長表彰

去る12月6日(金)、東京南青山会館にて、一般社団法人酪農ヘルパー全国協会が主催する「平成25年度酪農ヘルパー事業中央研究会」が開催されました。

この中央研究会では、基調講演、酪農ヘルパー事業事例発表、酪農ヘルパー全国協会会長表彰式が行われ、本県から、技術に優れた酪農ヘルパーとして推薦した、西部酪農センターヘルパー利用組合の酪農ヘルパー白石亮さんが表彰されました。

白石さんは、同利用組合に10年間勤務され、中核的酪農ヘルパーとして意欲的に活動した功績を称えられたものです。

表彰式当日は、出役の関係から、ご本人の受賞に代わり、全農西部酪農センター長の清水勝一氏が受賞されました。おめでとうございます。

これからも、酪農ヘルパー事業の継続と利用組合の発展のため、ご活躍されることを期待いたします。

【基調講演について】

現在、国では、酪農における生産基盤の強化として、酪農ヘルパー等からの新規就農に期待を寄せています。

これらを受け、今回の基調講演は、毎年約10名程度が酪農ヘルパーからの新規就農を果たしている北海道から、新規就農の支援を行っている公益財団法人北海道農業公社 担い手支援部(北海道農業担い手育成センター) 就農相談課 森課長より「酪農の新規就農」-北海道農業担い手育成センターの支援-について講演がありました。

1 支援の特徴

(1) 体制

担い手支援対策の企画、就農相談、資金貸付、農地等調達など就農支援体制を農業公社内に設置する担い手本部(北海道農業担い手育成センター)に一元化して実施。

(2) 市町村との連携

農業公社を核とし、道段階の「担い手センター」、道内171の市町村に「地域担い手育成センター」を設置し市町村との濃密な連携体制を整備。北海道庁及び関係機関はそれらを側面支援。

2 公社営農場リース事業の実施

農地保有合理化事業、農畜産業機械リース等支援事業、強い農業づくり交付金を総合的に活用し、離農畜産農家の経営資源を新規就農者に円滑に継承することを支援。

→昭和57年から346戸が酪農で新規就農

3 地域が取組む就農支援が充実

市町村等における独自の就農支援のほか、J Aや集落における就農支援システムが充実。

→常設研修農場による支援システム

→J A出資法人による就農支援

→地域内農業者による支援

4 経営継承への取組み

事業対象となる継承希望者の年齢は45歳未満。

平成20年からファームオン事業として経営継承について取組み現在まで11戸が継承完了。

事例の蓄積から様々な経営資源の継承に対応

このほか、就農支援を取り組む(有)浜中町酪農ヘルパー組合、酪農ヘルパーから新規就農した置戸町の農業者からの事例発表がありました。



畜産振興部より

◆第17回群馬県畜産共進会（繁殖和牛の部・乳牛の部）が開催！

前橋市の群馬県畜産試験場において、平成25年10月26日（土）に第17回群馬県畜産共進会・繁殖和牛の部、27日（日）に乳牛の部が開催されました。

繁殖和牛の部では未経産31頭、経産35頭、群出品9組の計66頭9組が出品され、繁殖和牛の体型や品位・資質等について、全国和牛登録協会の審査標準に基づいて公正な審査が行われ、名誉賞は第8部繁殖雌牛群の利根沼田地域が受賞しました。なお、結果は以下の通りです（各部優等賞1席のみ記載）。

部	受賞者	名号	父牛
第1部	下山 和男 (太田市)	はなただゆき	勝忠平
第2部	市川 隆康 (太田市)	えりか	美徳国
第3部	久保塚 順一郎 (みどり市)	ゆうこ	勝忠平
第4部	武井 賢一 (沼田市)	たけい23の3	第1花国
第5部	安原 稔夫 (長野原町)	のだめ	第1花国
第6部	武井 賢一 (沼田市)	たけい16の21	平茂勝
第7部 (親子群)	安原 稔夫 (長野原町)	のだめ ひなの	第1花国 勝忠平
第8部 (繁殖雌牛群)	山口 宗作 (沼田市)	みかぼ194	勝忠平
	片野 嘉平 (みなかみ町)	てるざくら2	美津照
	武井 賢一 (沼田市)	たけい16の21	平茂勝

乳牛の部では、未経産51頭、経産42頭の計93頭が出品され、体型や乳用強健性、乳房等について、日本ホルスタイン登録協会の審査標準に基づいた審査が行われ、その結果、名誉賞は未経産の部では長野原町の北軽ヤングマンSC、経産の部では長野原町の(有)萩原牧場が受賞しました。なお、結果は以下の通りです（各部優等賞1席のみ記載）。

部	受賞者	名号	備考
第1部	清水 邦男 (高崎市)	ピーチヒル アイオン ストレーク	
第2部	中之条高校 (中之条町)	ナカコー プライト アイオン RED フタゴ	
第3部	中之条高校 (中之条町)	ナカコー プライト S ライナー ミルキー RED	
第4部	三輪 圭吾 (みどり市)	リスぺクト AC デュース マックス	
第5部	北軽ヤングマンSC (長野原町)	KCF BB アッドウッド スリック	
第6部	(有)神沢牧場 (安中市)	ゴットフレイ ラティチュート ヤナギ	ベストアダー
第7部	(有)萩原牧場 (長野原町)	クリーン HL テンプター	ベストアダー
第8部	(有)萩原牧場 (長野原町)	ブルーエンゼル ダークレス	ベストアダー
第9部	千本木 裕 (桐生市)	センユウ R ダーハム チャンピオン	



未経産 名誉賞
KCF BB アッドウッド スリック
北軽ヤングマン シングレット



右から山口 宗作氏、
片野嘉平氏、武井 賢一氏
とその出品牛



経産 名誉賞
クリーン HL テンプター
(有)萩原牧場



◆第9回関東BWショウにて群馬県の乳牛改良の成果を発揮！

11月12日～13日に茨城県中央家畜市場で、第9回関東ブラックアンドホワイトショウが開催され、本県からは第17回群馬県畜産共進会（乳牛の部）の上位入賞牛から選抜された未經産10頭、経産12頭の計22頭が出品されました。1人で数頭出品する方も数名有り、審査に向けた出品牛の管理も大変でしたが、22頭中20頭が金賞入賞という大変優秀な成績を収めることができました。

なお金賞以上の結果は以下の通りです。

部	受賞者	名号	備考
第1部	(有)萩原牧場	ブルーエンゼル プラクストン アロハ ET	金賞2席
	大沢 直弥	ミルプロ ウインド ハマー リーラ	金賞3席
	清水 邦男	ピーチビル アイオン メトレク	金賞1席
第2部	県立中之条高校	ナカコー プライト アイオン ローマ RED フタコ	チャンピオン、ジュニア準名誉賞
第3部	県立中之条高校	ナカコー プライト SLK アイオン シル	チャンピオン
	県立中之条高校	ナカコー プライト S ライナー ミルキー RED	金賞1席
	松井 茂登司	MMS シェット ゴールデン リング ET	金賞4席
第4部	三輪 圭吾	リスペクト AC デュース マックス	チャンピオン
第5部	北軽井沢ヤングマン SC	KCF BB アットワット スリッ	チャンピオン、ジュニア名誉賞
	遠坂 和仁	ファイン ダンディ レディー	金賞3席
第6部	(有)KC牧場	KCF エレベーション アルタールティーニ リー	金賞1席、RBU
	砥上 雅道	アッシュクリーク マックス トリウムオン	金賞4席
第7部	(有)神沢牧場	ゴッドフレイ ライチチュート ヤナギ	チャンピオン、BU
第8部	(有)KC 牧場	マウンテン スモール パワー	チャンピオン、BU
	三輪 圭吾	MMS シェット ターハム	金賞1席、BU
第10部	(有)萩原牧場	ブルーエンゼル ターグレス	金賞3席
	長坂 仁司	ラブリーファーム クインジス ゴールドウイン	金賞1席、RBU、シニア準名誉賞
第11部	三輪 圭吾	ゴッドフレイ アトラス ウィング	チャンピオン、BU
	松井 茂登司	ミルキーウェイ ステップ アドベント クレマチス	金賞4席
	千本木 裕	センユウ R ターハム チャンピオン	金賞2席、RBU

◆第14回全日本ホルスタイン共進会の開催日程決定！

～平成27年10月23～26日、北海道安平町で～

全国から選りすぐりの牛たち、400頭（18部門 ホルスタイン種・ジャージー種）が集まります。本県からは、12頭の代表牛出品を予定しています。

ここ最近の群馬県はめざましい活躍を進行中！

平成24年度

- ・第16回関東地区ホルスタイン共進会 入賞率100% 未經産名誉賞、経産準名誉賞獲得！
- ・第8回全日本B&Wショウ 入賞率70% リザーブジュニアチャンピオン獲得！
- ・第37回中部日本B&Wショウ 入賞率93% ジュニアグランドチャンピオン、ジュニアリザーブグランドチャンピオン、経産リザーブグランドチャンピオン獲得！！

平成25年度

- ・第38回中部日本B&Wショウ 入賞率93% 経産グランドチャンピオン、自家生産牛群・母系牛群グランドチャンピオン獲得！
- ・第9回関東B&Wショウ 入賞率95% ジュニア名誉賞・準名誉賞、シニア準名誉賞獲得！

1. 会期・場所（集合審査）

(1) 会期：平成27年10月23日(金)～10月26日(月)

10月23日(金) 開会式、測定、写真撮影

10月24日(土) 審査、講評

10月25日(日) 審査、講評、チャンピオン決定

10月26日(月) 上位入賞牛パレード、閉会式

(2) 場所：北海道ホルスタイン共進会場（北海道勇払郡安平町）

業務部より

■肉用牛肥育経営安定特別対策事業(新マルキン事業)

【事業の実績(平成25年12月現在)】

対象期間	品種区分	交付単価 (円)	頭数 (頭)	交付金額 (千円)	契約数 (戸)	交付日
平成25年 4月	肉専用	-				6/28
	交雑	38,700	1,370	53,019	132	
	乳用	63,900	154	9,841	16	
	計		1,524	62,860	148	
平成25年 5月	肉専用	-				7/26
	交雑	33,900	1,101	37,324	115	
	乳用	56,000	359	20,104	15	
	計		1,460	57,428	130	
平成25年 6月	肉専用	-				8/26
	交雑	35,200	992	34,918	115	
	乳用	45,700	529	24,175	15	
	計		1,521	59,094	130	
平成25年 7月	肉専用	-				9/25
	交雑	65,400	1,156	75,602	119	
	乳用	43,200	485	20,952	17	
	計		1,641	96,554	136	
平成25年 8月	肉専用	-				10/24
	交雑	62,800	1,006	63,177	114	
	乳用	48,600	482	23,425	9	
	計		1,488	86,602	123	
平成25年 9月	肉専用	-				11/25
	交雑	53,500	1,079	57,727	124	
	乳用	45,500	458	20,839	12	
	計		1,537	78,566	136	
平成25年10月	肉専用	-				12/24
	交雑	40,000	1,203	48,120	124	
	乳用	41,700	426	17,764	14	
	計		1,629	65,884	138	
合計	肉専用		0	0	0	
	交雑		7,907	369,887	843	
	乳用		2,893	137,100	98	
	合計		10,800	506,987	941	

■肉用子牛生産者補給金制度

【事業の実績(平成25年12月現在)】

対象期間	品種区分	交付単価 (円)	頭数 (頭)	交付金額 (千円)	対象者 (戸)	交付日
平成25年1～3月	他肉専用	33,200	0	0	0	5/31
	乳用	10,600	432	4,579	11	
	計		432	4,579	11	
平成25年4～6月	他肉専用	-		0	0	8/30
	乳用	1,700	336	571	12	
	計		336	571	12	
平成25年7～9月	他肉専用	-		0	0	交付なし
	乳用	-		0	0	
	計		0	0	0	
合計	他肉専用		0	0	0	
	乳用		768	5,150	23	
	計		768	5,150	23	

■肉用牛肥育経営緊急支援事業支援金に係る返還状況

【平成25年8月販売分まで】

1 返還状況

販売対象期間 (販売異動等)	請求額 (千円)①	入金額 (千円)②	請求残額 (千円)①-②	返還金残額 (千円)
支援金交付額(191名)				1,946,500
H23.8～H25.8	1,945,050	1,688,500	256,550	258,000

2 請求書発行者数及び入金状況

	請求	うち全額返還	うち一部返還	うち全額未納
発行者数 (人)	191	155	36	0
請求額 (千円)	1,945,050	1,485,050	460,000	0
うち入金額 (千円)	1,688,500	1,485,100	203,400	

主 な 行 事 予 定

日付	行事	場所	担当部署
【1月】			
1月20日	県産上州和牛枝肉共進会	食肉卸売市場	畜産振興部
1月21日	養蜂協会役員会	JAビル	養蜂協会
1月22日	緬山羊生産振興委員会	JAビル	畜産振興部
1月24日	和牛生産振興委員会	JAビル	畜産振興部
1月27日	日本政策金融公庫 研修会	JAビル	畜産振興部
【2月】			
2月2日	新農業人フェア	東京都	企画管理部
2月5日	ミートフェスタ 肉豚の部	食肉卸売市場	畜産振興部
2月10日	酪農婦人講演会	前橋市	畜産振興部
2月13日	種鶏孵卵役員会	JAビル	種鶏孵卵協会
2月13日	日人協授精優良技術発表会	東京都	人工授精師協会
2月28日	肉用牛合同研修会	JAビル大ホール	畜産振興部

肉用牛合同研修会について！

今年は例年より早く2月28日（金）の開催となっております。

下記のような講演内容で予定しておりますので、積極的なご参加をお待ちしています。

講師：（株）微生物化学研究所 函城悦司 氏（ワクチネーション並びに牛白血病対策について）※

家畜改良技術研究所 小林正人 氏（牛肉のおいしさについて）※

※講演内容は仮です。内容が変わる場合もありますので、ご承知願います。

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

みんなで行こう！ケイバ！南関東4競馬場開催日程

群馬で競馬をするなら高崎場外です。高崎場外は旧高崎競馬場跡地を利用した場外馬券売り場です。開催日には高崎駅東口から無料シャトルバスを運行しており、大変便利です。また、昨年4月から伊勢崎オートレース場にオフト伊勢崎がオープンし、南関東4競馬場の馬券を買うことができるようになっております。

2014年1月			2014年2月		
1	水	川崎	17	金	浦和
2	木	川崎	18	土	
3	金	川崎 報知オールスターカップ(SⅢ)	19	日	
4	土	川崎	20	月	大井
5	日		21	火	大井
6	月	船橋	22	水	大井 TCK女王盃(JpnⅢ)
7	火	船橋	23	木	大井
8	水	船橋 船橋記念(SⅢ)	24	金	大井
9	木	船橋	25	土	
10	金	船橋	26	日	
11	土		27	月	川崎
12	日		28	火	川崎
13	月		29	水	川崎 川崎記念(JpnⅠ)
14	火	浦和	30	木	川崎
15	水	浦和 ニューイヤーカップ(SⅢ)	31	金	川崎
16	木	浦和			
			1	土	
			2	日	
			3	月	大井
			4	火	大井
			5	水	大井 金盃(SⅡ)
			6	木	大井
			7	金	大井
			8	土	
			9	日	
			10	月	船橋
			11	火	船橋
			12	水	船橋 報知グランプリカップ(SⅢ)
			13	木	船橋
			14	金	船橋
			15	土	
			16	日	

◆高崎場外馬券場所在地
群馬県高崎市岩押町12-16
お問合せ：027-326-5648

◆オフト伊勢崎所在地
群馬県伊勢崎市宮子町3074
伊勢崎オートレース場
グリーンスタンド4階
お問合せ：0270-23-0535

詳しくは南関東4競馬場サイト：<http://www.nankankeiba.com/index.html> をご覧ください

編集後記

今回も 群馬の畜産みんなの情報室」をお読みいただきありがとうございます。

昨年未くらいから全国各地に寒波が押し寄せた影響もあってか、ここ最近ではインフルエンザが流行っております。

また、毎日のようにノロウイルスの感染事例も報告されており、うがい、手洗いなど感染予防が重要だと感じます。

ノロウイルスはアルコール消毒の効果がないようですので、しっかり手洗いしましょう。

かくいう私も、年末年始に実家で食べ過ぎ飲み過ぎて胃腸が疲れたタイミングで、胃腸炎になりました。現在は回復しましたが、こういう病気が割と気持ちが高ぶっている時にかなりやすいように個人的には思います。

新年会などお酒を飲む機会も多い時期ですが、自分の体も気遣いながら公私ともに楽しく過ごしたいですね。今年もよろしくお願ひ致します。

S, N